



奈良県宇陀市の農業

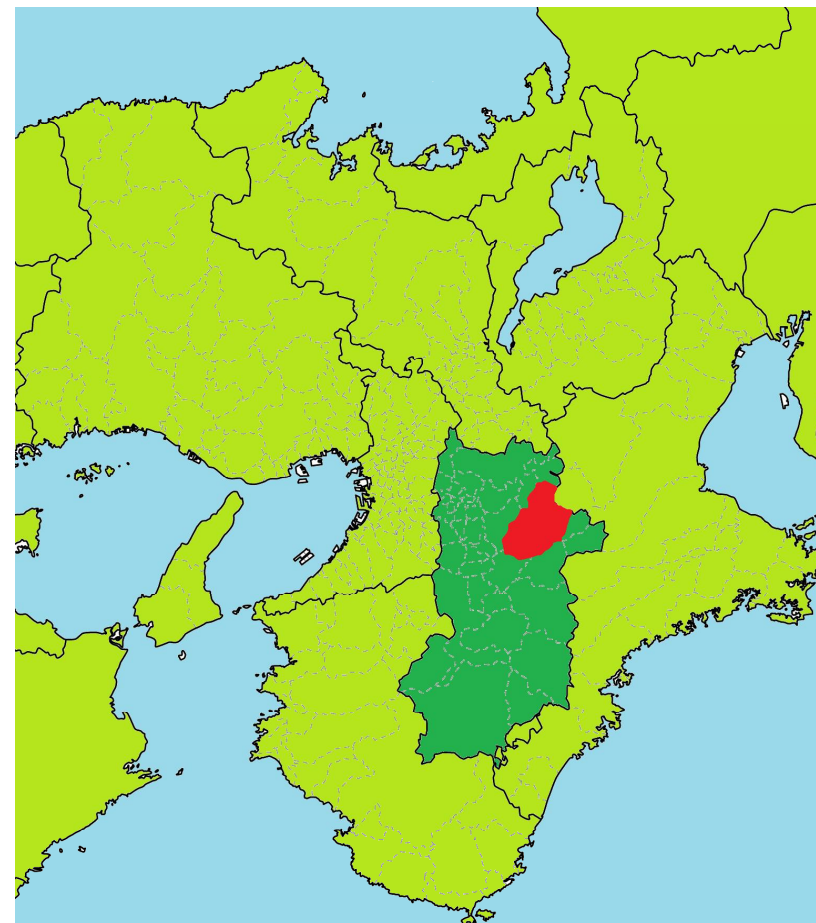
**宇陀市は有機農業や捕獲鳥獣の利活用など
地域資源を活用した持続可能な地域振興を目指します**



宇陀市

立地・環境

- ・ 宇陀市は、奈良県の北東部に位置し、北は奈良市、山添村、西は桜井市、南は吉野町、東吉野村、東は曽爾村、三重県名張市に接しています。
- ・ 宇陀市の面積は248 km²であり、奈良県全体の6.7%を占めています。
- ・ 土地利用の状況は、山林が全体の74%を占めており、農地は8%です。
- ・ 大和高原とよばれる高原地帯に位置しており、夏の冷涼な気候を活かした農業が盛んです。



奈良県と連携し、奈良県独自の取組みである**特定農業振興ゾーン**を**伊那佐東部地区**（51.5ha）や、**大宇陀政始北部地区**（42.4ha）で設定し、農業の効率化や農地整備等を行い、**高収益作物の生産拡大**や**品質・生産性の向上**を取り組んでいます。

目指す将来像

大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した
軟弱野菜、有機野菜、大和野菜、花き等の生産拡大



栽培が盛んな軟弱野菜
(ミズナ、コマツナ、ハウレンソウ等)



有機野菜



花き（ダリア）
大和野菜
高収益作物など



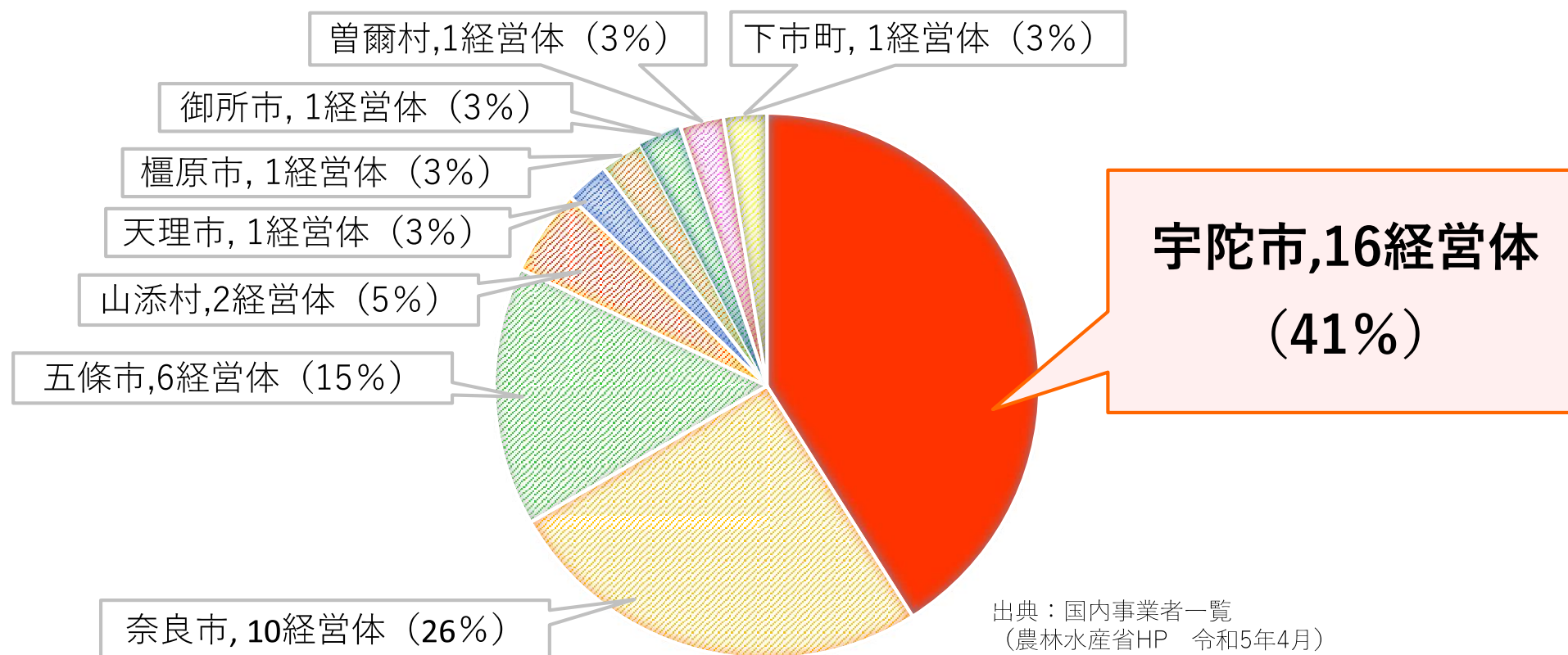
取組み

- ・農地中間管理事業を活用して、農業法人や大規模農家、新規就農者など多様な担い手に農地を集積
- ・用排水路施設の更新や整備、土層改良等の基盤整備
- ・高収益作物の生産拡大のためハウスなどの施設整備を進め、省力化のためスマート農業の導入を検討

宇陀市の有機農業

冷涼な気候等から、有機農業が盛ん。有機農業の担い手は、10経営体が参加する**山口農園グループ**や企業が設立した農業法人の**類農園、はじまり屋、奈良みらいデザイン(株)**等があり、独自の販路確保や担い手育成等、多様な経営を展開。

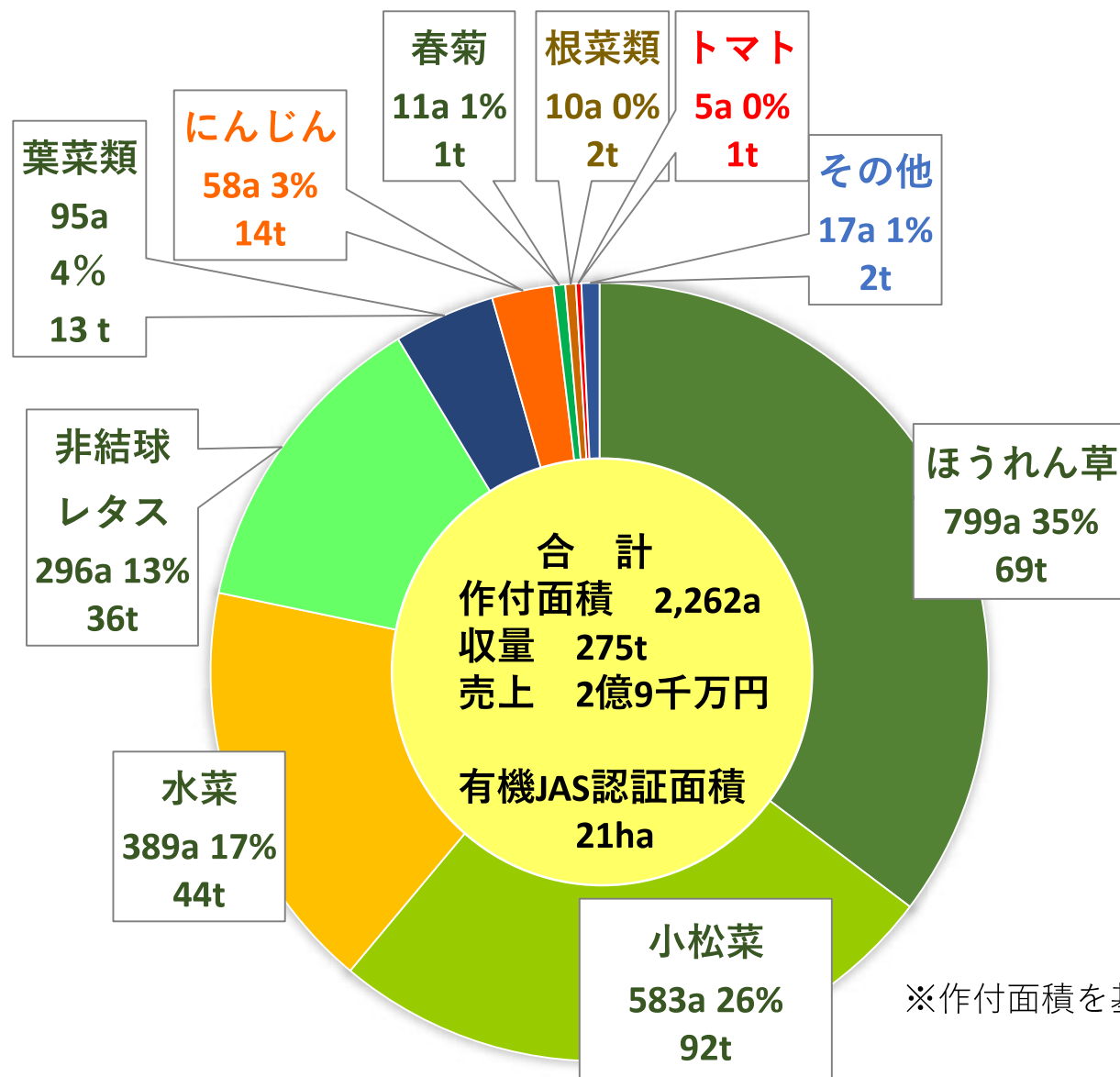
奈良県内の有機農産物の経営体数



出典：国内事業者一覧
(農林水産省HP 令和5年4月)
(有機農産物の生産工程管理者を圃場所在地で整理)

宇陀市の有機農業の現状

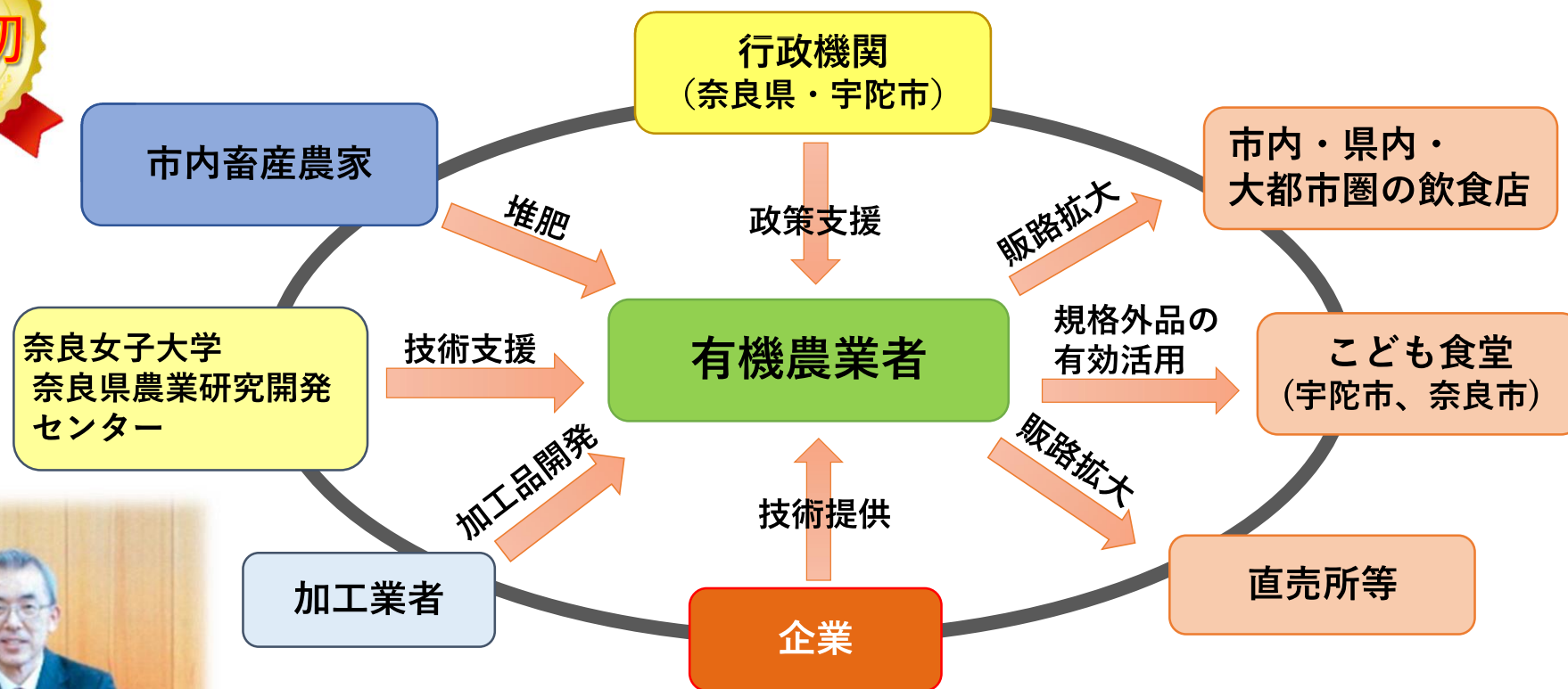
宇陀市における有機農業の状況（作付面積と収量）（令和3年産推計値）



※作付面積を基準としてグラフを作成



有機農業の一大拠点（オーガニックビレッジ）の創出



みどりの食料システム戦略

オーガニックビレッジを起点に

持続可能な農業の振興

食と農の活性化による魅力あるまちづくり

【目標】

特定農業振興ゾーンを核とし、生産から食卓までの関係者をネットワーク化したクラスターを形成し、**宇陀市で有機農業の一大拠点（オーガニックビレッジ）を創出。**

宇陀市の取組み（生産）

1. 有機農業の普及
2. 生産出荷調整作業の改善
3. 長期鮮度保持の実践・拡大



市内畜産堆肥の活用



企業の業務改善ノウハウによる
栽培管理作業



長期鮮度保持可能な電場冷蔵庫

宇陀市の取組み（流通、加工、消費）

1. 加工品の開発
2. 加工品のPR・規格外品の活用
3. 規格外品の物流開拓・商品化
4. 消費PR活動等



規格外品を利用した
無添加無着色のペースト



フードソリューションズフェア2022に出展

- 農林業における鳥獣被害対策として捕獲したシカ・イノシシを地域の資源として衛生管理等の指針に沿った食肉処理を行い良質なジビエ肉を生産する「獣肉利活用施設」の設置をします。
- 農林業被害の減少、宇陀ブランドとして新たな商品開発による経済の活性化、地域振興等を目指します。

